

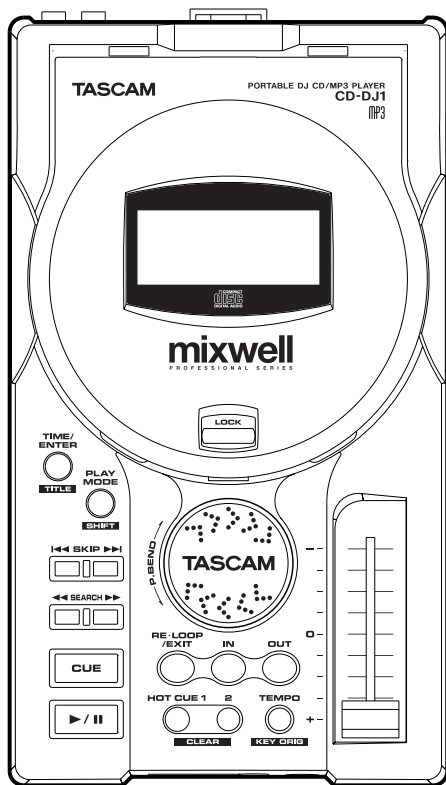
TASCAM

TEAC Professional Division

CD-DJ1

PORTABLE DJ CD/MP3 PLAYER



取扱説明書






安全にお使いいただくために

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告



万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。



この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



この機器の上に花瓶や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。



この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。

警告



この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意



オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。



5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用についてはご相談ください。



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・湿気やほこりの多い場所
- ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所



旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。



この機器には、付属のACアダプターをご使用ください。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



付属のACアダプターを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。

目次

安全にお使いいただくために	2	フラッシュスタート	17
目次	4	ループ再生	17
第1章 はじめに	5	1. 始点 (INポイント) の設定	17
主な特長	5	2. 終点 (OUTポイント) の設定	17
製品構成	5	3. ループ再生の解除	17
設置、使用上のご注意	5	リループ再生	17
CD (コンパクトディスク) の取扱い	6	1. ループポイントの消去	17
電源について	6	2. OUT ポイントの更新	18
スリープ機能	6	3. OUT ポイントの編集	18
ACアダプターについて	6	4. OUT ポイントの復帰	18
アフターサービスについて	6	テンポコントロール	18
第2章 各部の名称と機能	7	テンポレンジの設定	18
トップパネル	7	キーオリジナル機能	19
前面パネル	10	ピッチベンド機能	19
後面パネル	10	第6章 MP3ファイルの再生	20
ディスプレイ	10	再生範囲の選択	20
通常表示	10	フォルダの選択	20
セットアップ画面	11	ディスプレイ表示	20
第3章 セットアップメニュー	12	MP3ファイル再生時に制約のある機能	20
基本操作	12	MP3ファイルのフォルダとトラックについて	21
セットアップメニューの構成	13	第7章 その他の機能	22
第4章 基本操作	14	TT-M1を使う	22
基本再生	14	TT-M1のオン/オフ	22
再生可能なディスク	14	TT-M1のキャリブレーション	22
再生モード	14	TT-M1使用時の制約	22
再生する	14	本機の設定をリセットする	22
トラックを選択する	14	出力音量の設定	22
サーチする	15	オートプレイ	23
オートキュー機能	15	バックライトの設定	23
オートレディ機能	15	コントラストの調整	23
CDテキスト情報の表示	15	第8章 仕様	24
第5章 DJ機能	16	定格	24
キュー機能	16	性能	24
1. キューポイントの登録	16	バックアップメモリー	24
2. キューポイントの確認	16	外形寸法図	25
ホットキュー機能	16	保証とアフターサービス	28
1. ホットキューポイントの登録	16		
2. ホットキューポイントの消去	16		
3. ホットキューポイントの確認	16		

第1章 はじめに

このたびは、TASCAM CD-DJ1 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機はコンパクトで操作性に優れた可搬型DJ用CDプレーヤーです。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、十分に機能を発揮させ末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

主な特長

- 小型軽量で可搬性に優れ、DJブースなどの現場に容易に設置できます。
- 市販のオーディオCDに加え、CD-R/CD-RWも再生可能です。またMP3ファイルの再生も可能です。
- 7秒以上のアンチショックメモリーを装備していますので、クラブなど振動の多い環境下でも途切れなく音声出力することができます。
- 押しやすい大型PLAY/PAUSE (▶/⏸) キーを装備。またSEARCH (◀/▶) キーとSKIP (◀◀/▶▶) キーを独立に装備しています。
- 豊富なキュー機能。CUEキーの他にHOT CUEキーを2個装備しています。
- インスタントプレイ (一時停止状態から瞬時に再生を開始) が可能です。
- 使いやすい60mm のテンポスライダーを装備しています。また、テンポスライダーで設定できる範囲 (テンポレンジ) を変更可能です。
- ピッチベンドやフレームサーチ、およびメニュー操作として、ジョグダイヤルを装備しています。
- キーオリジナル機能 (再生テンポ変更時に音程を変化させない機能) を装備。
- TASCAM TT-M1 を本機に接続することにより、アナログターンテーブルからCD再生をコントロールできます。
- 全曲再生、1曲再生、全曲リピート再生、1曲リピート再生の4つの中から再生モードを選択できます。
- 任意の2点間のシームレス・ループ再生が可能です。
- MP3ファイル再生では、フォルダ内再生/全フォルダ再生を選択できます。
- オートキュー機能とオートレディ機能を装備しています。
- オートプレイ機能を装備していますので、電源投入後、自動的に再生を開始することが可能です。

- ディスプレイを使って、本機やディスクの状況を表示するとともに、CDテキストやMP3ファイルのタイトルを表示することができます。
- ディスプレイのバックライト輝度とコントラストの設定が可能です。
- セットアップメニューを使って各種環境設定を行なえます。
- 一定時間再生動作を行なわないと、自動的にCDメカが停止しバックライトが消灯するスリープ機能を装備しており、CDメカの延命に役立ちます。

製品構成

本製品の構成は以下のとおりです。

● CD-DJ1 本体	x 1
● ACアダプター (PS-PS5)	x 1
● 取扱説明書	x 1
● 保証書	x 1

なお、本機を開梱する時、損傷を与えないよう慎重に行なってください。梱包箱と緩衝材は後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合、販売店またはティアック修理センターまでご連絡ください。

設置、使用上のご注意

- 本機の動作温度は5℃～35℃です。この範囲内でご使用ください。また、ほこりや湿気が多い場所への設置は故障の原因になりますので、避けてください。
また、寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。
- 本機を置く台や棚は、必ず水平で頑丈な場所に設置してください。
- 本体には強い衝撃を与えないでください。内部回路やケースが損傷する場合があります。
- 製品の汚れは、柔らかい布でからびぎしてください。なお、シンナーやベンジンなどの溶剤は、アクリル部や塗装面が溶けたり、表示文字が消えたりすることがありますので、絶対に使用しないでください。

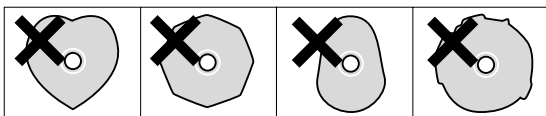
CD（コンパクトディスク）の取扱い

本機はCD-DAフォーマットのCD、およびCD-ROMフォーマットで記録されたMP3ファイルを再生することができます。市販のオーディオCD（8cm/12cm）だけではなく、正しくオーディオやMP3ファイルを記録したCD-R/CD-RWも使うことができます。

- 信号記録面に指紋やほりがついたら、柔らかい布で軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。ディスクの汚れは、音飛びの原因となりますので、いつもきれいに清掃し、ケースに入れて保管してください。



- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所に置かないでください。長時間放置するとそりなどの原因となります。
- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またはシールなどから糊がはみ出しているものは、使用しないでください。そのまま再生すると、故障の原因となることがあります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



- CD-R、CD-RWについては、ご使用のメディアや記録状態によっては正しく再生できない場合があります。

電源について

付属のACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子につなぎ、電源プラグを家庭用電源コンセント（AC 100V）に差し込んでください。

電源スイッチは後面パネルにあります。このスイッチを押すとディスプレイが点灯し、メッセージが表示されてから通常画面になります。

スリープ機能

本機では、一定時間再生動作を行なわないと自動的にスリープ機能が働き、CDメカが停止しバックライトが消灯します。

ACアダプターについて

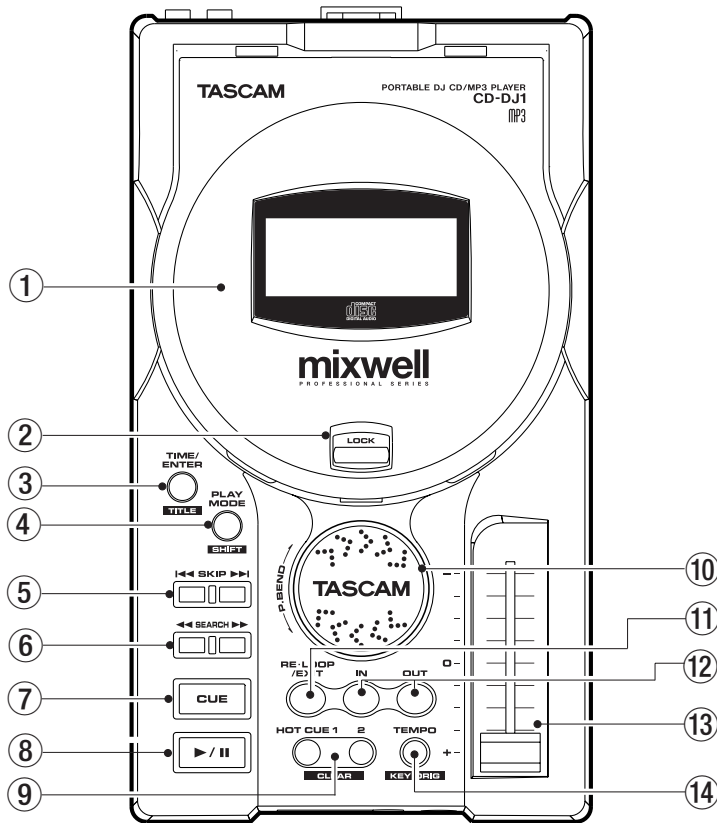
ACアダプターの使用については、以下の点にご注意ください。

- 必ず付属のACアダプター（PS-PS5）をご使用ください。他のACアダプターを使うと本機が故障する恐れがあります。
- 必ずACアダプターはAC 100Vのコンセントに接続してください。

アフターサービスについて

- この製品には保証書を別途添付しております。保証書は所定事項を記入してお渡ししておりますので、記載内容をご確認の上、取扱説明書などと一緒に大切に保管してください。
- 保証期間はご購入日より1年です。保証期間中は記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。その他の詳細につきましては保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、販売店またはティアック修理センターにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認の上ご連絡ください。
 - 型名、型番（TASCAM CD-DJ1）
 - 製造番号（Serial No.）
 - 故障の症状（できるだけ詳しく）
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。

トップパネル



① CDカバー

CDカバーを開けるときは、左右のくぼみに手をかけて上に持ち上げます。

ディスクをセットしてCDカバーを閉じると、本機がディスク情報（TOC）を読み出します。読み出し後、一時停止します。

② ロックレバー

CDカバーを閉じた状態でレバーを下げるとLOCK表示になり、CDカバーが開かなくなります。

レバーを上げるとUNLOCK表示になり、CDカバーを開けることができます。

本機を持ち運びするときは、ロックレバーをLOCKにしてください。

③ TIME/ENTER / **TITLE** キー

通常画面表示中にこのキーを押すと、再生時間表示モードが以下の順に切り換わります。

ELAPSED（トラック経過時間） → REMAIN（トラック残時間） → TOTAL REMAIN（ディスク残時間）
 セットアップメニュー中は、このキーがENTERキーとして機能します。また、SHIFTキーを押しながらこのキーを押

すと、CDテキスト情報やMP3ファイルのタイトル情報表示に切り換わります。

ご注意

MP3ファイルの場合、再生時間表示はELAPSED（トラック経過時間）のみで、REMAIN表示やTOTAL REMAIN表示は選択できません。

④ PLAY MODE / **SHIFT** キー

このキーを押すと再生モードが以下の順に切り換わります。

全曲再生（初期設定） → 1曲再生 → 全曲リピート再生 → 1曲リピート再生

また、このキーを押しながら他のキーを押すと、このキーはSHIFTキーとして機能します。この場合、再生モードは切り換わりません。

⑤ SKIP (I<<</>>>)キー

再生中、または一時停止中に、トラック選択（スキップ）を行いません。スキップ後の動作は、キーを押したときの動作（再生／一時停止）を継続します。詳しくは（ → 14ページ「トラックを選択する」）をご覧ください。

第2章 各部の名称と機能

MP3ファイルを再生時に、SHIFTキーを押しながらこれらのキーを押すと、フォルダの選択を行ないます。(→20ページ「フォルダの選択」)

⑥ SEARCH (◀◀/▶▶)キー

セットアップメニューのSRCH KEY項目の設定によって動作が異なります。



■ SRCH設定時：

通常のサーチキーとして動作します。すなわち、再生中または一時停止中に押し続けると、サーチを行ないます。(→15ページ「サーチする」)

■ BEND設定時：

ピッチベンドキーとして動作します。再生中、押している間だけテンポが変化します。離すと元のテンポに戻ります。(→19ページ「ピッチベンド機能」)

SHIFTキーを押しながらSEARCHキーを押すと、SRCH KEY項目の設定にかかわらず、ピッチベンド動作を行ないます。

⑦ CUE キー

キューポイントが登録されているとき、このキーを押すとキューポイントで一時停止(キューポーズ)します。キューポーズ中はCUEキーを押している間だけ再生を行ない、離すとキューポイントに戻って一時停止(キューポーズ)します。C U E キーを押している間にPLAY/PAUSEキーを押すと、通常の再生になります。(→16ページ「キュー機能」)

またキューポイントを登録するときに、CUEキーを使うこともできます。

SHIFTキーを押しながらこのキーを押すと、CUEキーの動作モードを切り換えます。(→16ページ「キュー機能」)

⑧ PLAY/PAUSE(▶/⏸)キー

再生一時停止中に押すと再生を始めます。再生中に押すと再生一時停止になります。再生中は点灯、一時停止中は点滅します。

SHIFTキーを押しながらこのキーを押すと、TT-M1キャリアブレーション機能が働きます。(→22ページ「TT-M1のキャリアブレーション」)

⑨ HOT CUE (1、2)/ CLEAR キー

ホットキューポイント(1、2)が登録されているときにHOT CUEキー(1、2)を押すと、ホットキューポイント(1、2)から再生開始(フラッシュスタート機能がオンのとき)または一時停止(フラッシュスタート機能がオフのとき)します。(→16ページ「ホットキュー機能」)またホットキューポイント(1、2)が登録されていないときにHOT CUEキー(1、2)を押すと、ホットキューポイント(1、2)が登録されます。(→16ページ「ホットキューポイントの登録」)

また、SHIFTキーを押しながらこのキーを押すと、設定されているホットキューポイントを消去します。

⑩ ジョグダイヤル

再生中のジョグダイヤルの機能は、セットアップメニューのSRCH KEY項目の設定によって異なります。

■ SRCH設定時：

ジョグダイヤルを回すとピッチベンドとして動作し、再生テンポが変化します。操作を止めると元のテンポに戻ります。(→19ページ「ピッチベンド機能」)

■ BEND設定時：

ジョグダイヤルを回すとサーチを行ないます。(→15ページ「サーチする」)

一時停止中にジョグダイヤルを回すと、スクラブ再生をしながらジョグを行ないます。

セットアップメニュー時は、ジョグダイヤルを使って項目や設定値の選択を行ないます。(→12ページ「セットアップメニュー」)

⑪ RE-LOOP/EXIT キー

ループ再生のオン/オフを切り換えます。(→17ページ「ループ再生」)

SHIFTキーを押しながらRE-LOOP/EXITキーを押すと、ループ再生の始点(INポイント)と終点(OUTポイント)の設定が消去されます。

⑫ INキー、OUTキー

それぞれ、ループ再生の始点(INポイント)と終点(OUTポイント)を設定するときに使います。ループ再生中にOUTキーを押すと、OUTポイントを更新します。

また、ループ再生中にSHIFTキーを押しながらOUTキーを押すと、ジョグダイヤルを使ったOUTポイント編集が可能になります。詳しくは17ページ「ループ再生」「リループ再生」をご覧ください。

⑬ テンポスライダー

再生テンポを調節します。－方向に操作すると遅くなり、＋方向に操作すると速くなります。調節範囲はテンポレンジの設定によって異なります。

ただし、TT-M1使用時はテンポスライダーは機能しません。

⑭ TEMPO / **KEY ORIG** キー

テンポレンジを設定します。このキーを押すと以下の順にテンポレンジが切り換わります。

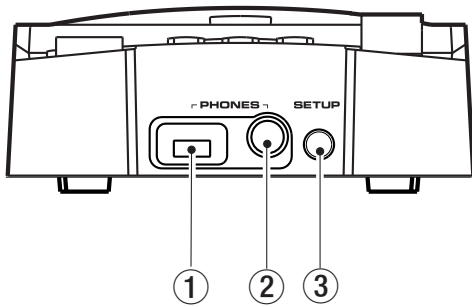
±8% (初期設定) → ±16% → ±32% → ±100%

設定を切り換えたとき、ディスプレイの表示が数秒間点滅した後で、設定値が確定して動作に反映されます。

また、SHIFTキーを押しながらこのキーを押すと、キーオリジナル機能のオン／オフが切り換わります。

なお、TT-M1使用時はこのキーは機能しません。

前面パネル



① PHONES 音量ダイヤル

ヘッドホン出力音量を調整します。

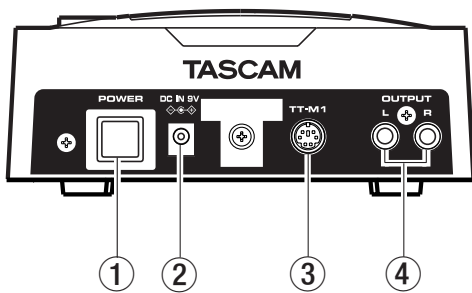
② PHONES OUT端子

ヘッドホンを接続するための6.3φステレオホンジャックです。

③ SETUPキー

このキーを押すとセットアップメニューになります。
(→12ページ「セットアップメニュー」)

後面パネル



① 電源スイッチ

本機電源のオン/オフを行ないます。

② DC IN端子

付属のACアダプターを接続します。

③ TT-M1 端子

TASCAM TT-M1を接続します。(→22ページ「TT-M1を使う」)

④ OUTPUT 端子 (RCAピンジャック)

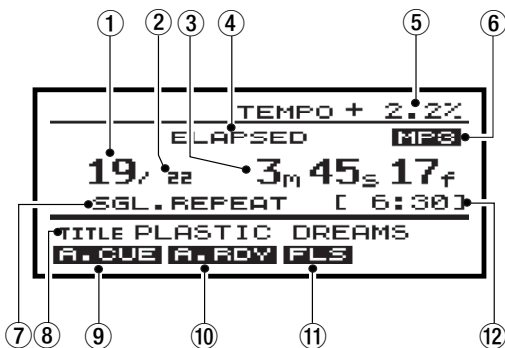
CD再生音を出力します。規定出力レベルは-10dBVです。

ディスプレイ

本機では、ディスプレイを使って本機やディスクの状況を表示します。通常、ディスプレイには現在の設定や状況が表示されます。セットアップメニュー中はセットアップ画面が表示されます。

また、ディスプレイのバックライト輝度とコントラストをセットアップメニューで設定することができます。(→23ページ「バックライトの設定」「コントラストの調整」)

通常表示



① トラック番号

再生中のトラック番号を表示します。

② 総トラック数

オーディオCD再生時は、総トラック数を表示します。
MP3ファイル再生時は、セットアップメニューのFOLDER項目の設定に応じて、カレントフォルダ内のトラック数またはディスク全体のトラック数を表示します。

③ 再生時間

再生時間表示モードに従って時間を表示します。
ディスクがセットされていないとき、「No Disc」を表示します。

④ 再生時間表示モード

選択中の再生時間表示モードを表示します。(ELAPSED、REMAIN、TOTAL REMAIN)

⑤ テンポ表示

テンポスライダーで設定中のテンポ値を表示します。
キーオリジナル機能がオンのとき、「TEMPO」の代わりに「K.ORIG」を表示します。
また、TT-M1のスイッチがオンのとき、テンポ値の代わりに「TT-M」を表示します。

⑥ MP3

MP3ファイル再生時に「MP3」を表示します。

⑦ 再生モード／リピートモード

再生モード及びリピートモードを表示します。

- 全曲再生：(表示無し)
- 1曲再生："SINGLE"と表示
- 全曲リピート再生："ALL REPEAT"と表示
- 1曲リピート再生："SGL. REPEAT"と表示

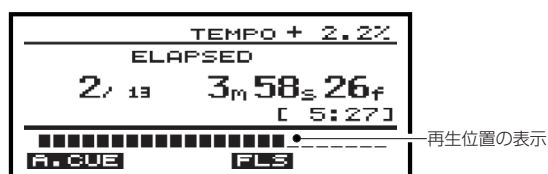
⑧ トラックタイトル 又は 再生位置

<トラックタイトル>

CDテキスト情報やMP3ファイルのタイトル情報など、再生トラックのタイトルを表示します。

CDテキスト情報のないオーディオCDの場合は、何も表示されません。

<再生位置>



オーディオCDを再生時、現在のトラックにおける再生位置を24ドットのバーメーターで表示します。

再生時間表示モードがELAPSEDの時は、再生の進行とともに左側から■が増えていきます。

再生時間表示モードがREMAINの時とTOTAL REMAINの時は、再生の進行とともに左側から■が減っていきます。再生トラックの残り時間が30秒以下になると、バーメーターがゆっくり点滅します。

再生トラックの残り時間が10秒以下になると、バーメーターが速く点滅します。

なお、MP3ファイルの再生時やディスクがセットされていないときはバーメーターが表示されません。

⑨ オートキュー

オートキュー機能がオンのとき、「A.CUE」を表示します。

⑩ オートレディ

オートレディ機能がオンのとき、「A.RDY」を表示します。

⑪ フラッシュスタート

フラッシュスタート機能がオンのとき、「FLS」を表示します。

⑫ 再生トラックの長さ

オーディオCD再生時、再生中トラックの長さを、[分：秒]で表示します。

セットアップ画面



セットアップメニュー中は上図のようなセットアップ画面が表示されます。詳しくは（ → 12ページ「セットアップメニュー」）をご覧ください。

第3章 セットアップメニュー

本機ではセットアップメニューを使って、各種設定を行なうことができます。これらの設定は電源を切っても保持されません。

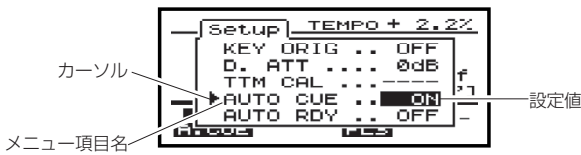
基本操作

1. SETUPキーを押します。

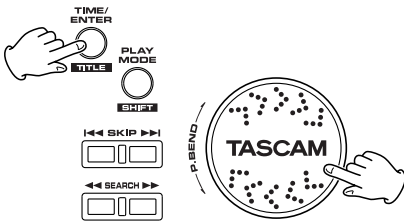


セットアップメニューの項目選択画面が表示されます。

カーソルが置かれているメニュー項目が選択中のメニュー項目です。



2. ジョグダイヤルを使ってメニュー項目を選択し、ENTERキーを押します。



値が白い四角カーソルで囲まれた反転表示になります。

3. ジョグダイヤルを使って値を選択します。
4. ENTERキーを押して設定を確定します。
白い四角カーソルが消え、セットアップメニュー項目選択表示に戻ります。
5. 別のメニュー項目を設定する場合は、上記の手順2~4を繰り返します。
6. 設定を終えたら、SETUPキーを押してセットアップメニューを終了します。



7. 通常画面に戻ります。

セットアップメニューの構成

セットアップメニューには以下の項目があります。

項目名	表示	内容	参照箇所
キーオリジナル	KEY ORIG	キーオリジナル機能のオン/オフ	「キーオリジナル機能」 (19ページ)
デジタルアッテネーション	D. ATT	出力音量の設定	「出力音量の設定」 (22ページ)
TT-M1 キャリブレーション	TTM CAL	TT-M1のキャリブレーションの実行	「TT-M1のキャリブレーション」 (22ページ)
オートキュー	AUTO CUE	オートキューのオン/オフ	「オートキュー機能」 (15ページ)
オートレディ	AUTO RDY	オートレディのオン/オフ	「オートレディ機能」 (15ページ)
CD-ROMフォルダプレイ	FOLDER	ディスクの再生範囲を選択	「再生範囲の選択」 (20ページ)
フラッシュスタート	FLASH	フラッシュスタートのオン/オフ	「フラッシュスタート」 (17ページ)
オートプレイ	AUTOPLAY	オートプレイのオン/オフ	「オートプレイ」 (23ページ)
CUEキーモード	CUE KEY	CUEキーの動作モードを選択	「キュー機能」 (16ページ)
LOOP OUTキーモード	OUT KEY	OUTキーの動作モードを選択	「ループ再生」 (17ページ)
SEARCHキー機能	SRCH KEY	SEARCHキーの機能を選択	「サーチする」 (15ページ)
LCDコントラスト	LCD CONT	LCDコントラストの調整	「コントラストの調整」 (23ページ)
バックライトディマー	DIMMER	ディスプレイのバックライトの輝度調整	「バックライトの設定」 (23ページ)
システムリセット	RESET	本機の設定/情報を工場出荷時の状態にリセット	「本機の設定をリセットする」 (22ページ)

第4章 基本操作

基本再生

通常のCDプレーヤーとしての基本再生操作を説明します。
なお、特に断りのないかぎり、本章ではオーディオCD再生の場合を説明します。MP3ファイルの再生については、(→ 20ページ「MP3ファイルの再生」)をご覧ください。

再生可能なディスク

本機では、以下のディスクを再生することができます。

- CD-DAフォーマットで記録した市販のオーディオCDまたはCD-R/CD-RW
- MP3ファイルをCD-ROMフォーマットで記録したCD-R/CD-RW

メモ

LCDに"**DISC ERR**"が表示された場合は、ディスクを清掃するか、ディスクを取り替えてください。

ご注意

CD-R、CD-RWについては、ご使用のメディアや記録状態によっては正しく再生できない場合があります。

再生モード

本機には4つの再生モードがあります。選択中の再生モードはディスプレイに表示されます。
PLAY MODEキーを押すと再生モードが切り換わります。



- 全曲再生：(表示無し)
- 1曲再生："SINGLE"と表示
- 全曲リピート再生："ALL REPEAT"と表示
- 1曲リピート再生："SGL. REPEAT"と表示

再生する

以下の操作は工場出荷時の設定状態で行なうものとします。
すなわち、再生モードは全曲再生モード、オートキュー機能はオンの状態です。

1. 電源スイッチを押して電源を入れます。
ディスプレイに"**No Disc**"が表示されます。
2. CDカバーを開けてディスクをレーベル面を上にしてセットします。
3. CDカバーを閉じます。
ディスプレイに総トラック数と総再生時間が表示されません。
4. 誤ってCDカバーが開かないようにするには、ロックレバーを下げてLOCKが表示されるようにします。
5. PLAY/PAUSEキーを押します。
トラック1から再生が始まります。

- 再生を一時停止するには
本体のPLAY/PAUSEキーを押します。
再度、再生を開始するにはPLAY/PAUSEキーを押します。
- 希望のトラックを再生するには
SKIPキーを使ってトラックを選択します。
- ヘッドホンでモニターするには
PHONES OUT端子にヘッドホンのプラグを差し込み、PHONES音量ダイヤルでレベルを調節します。

メモ

本機にはSTOPキーがありません。

ご注意

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を強く刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を与えることがあります。

トラックを選択する

SKIP(◀◀/▶▶)キーを使ってトラックを選択することができます。

再生中または再生一時停止中に◀◀キーを1回押すと、再生中または再生一時停止中のトラックの頭にスキップします。

手前のトラックにスキップするには、◀◀キーを繰り返し押します。

再生中にトラックを選択すると、選択トラックの再生が始まります。

一時停止中にトラックを選択すると、選択トラックの先頭で一時停止になります(オートキュー機能がオンのときは、

選択トラックの音の立ち上がりポイントで一時停止になります)。

なお、MP3ファイルを収録したディスクの場合、セットアップメニューのFOLDER項目の設定によって、現在のフォルダ内のみをトラックスキップするか、フォルダをまたいでトラックスキップするかが変わります。またいずれの場合でも、SHIFTキーを押しながらSKIP(◀◀/▶▶)キーを押すと、フォルダ間をスキップします。

サーチする

セットアップメニューのSRCH KEY項目の設定に応じて、ジョグダイヤルまたはSEARCH(◀◀/▶▶)キーを使ってサーチを行なうことができます。

■ SRCH KEY項目をSRCHに設定したとき：

再生中または一時停止中にSEARCH(◀◀/▶▶)キーを押し続けると、サーチを行ないます。▶▶キーは順方向（進行方向）サーチに、◀◀キーは逆方向（戻し方向）サーチに使用します。

■ SRCH KEY項目をBENDに設定したとき：

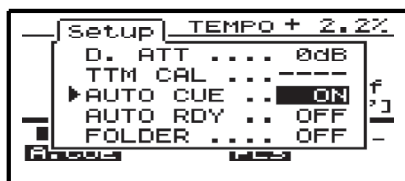
再生中にジョグダイヤルを回すと、サーチを行ないます。時計回りに回すと順方向（進行方向）、半時計回りに回すと逆方向（戻し方向）にサーチします。

一時停止中にジョグダイヤルを回すと、スクラブ再生を伴うジョグを行ないます。

オートキュー機能

オートキュー機能をオンにすると、一時停止中にトラックを選択したときに（トラックの頭ではなく）音の立ち上がり位置で一時停止します。したがって、選曲した後にPLAY/PAUSEキーを押すと、瞬時に音楽が始まります。

オートキュー機能のオン／オフはセットアップメニューのAUTO CUE項目で行ないます。



オートキュー機能がオンのとき、ディスプレイに"A.CUE"が点灯します。

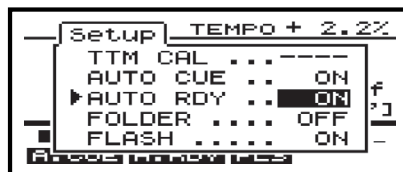
オートレディ機能

オートレディ機能をオンにすると、トラック再生後に次のトラックの先頭で一時停止します。

メモ

オートキュー機能もオンになっている場合は、トラックの先頭ではなく、音の立ち上がり位置で一時停止になります。

オートレディ機能のオン／オフはセットアップメニューのAUTO RDY項目で行ないます。



オートレディ機能がオンのとき、ディスプレイに"A.RDY"が点灯します。

CDテキスト情報の表示

CDテキスト情報の含まれているディスクを再生している時に、SHIFTキーを押しながらTIME/ENTER/ **TITLE** キーを押すと、CDテキスト情報が切り換わります。

- トラックタイトル ("TITLE")
- アーティスト名 ("NAME")

なお、CDテキスト情報表示は一定時間経過後に自動的に消えます。

第5章 DJ機能

CD-DJ1はキュー機能、ホットキュー機能（フラッシュスタート機能）、ループ再生、テンポコントロール、ピッチベンドといったDJ用途の機能を装備しています。

キュー機能

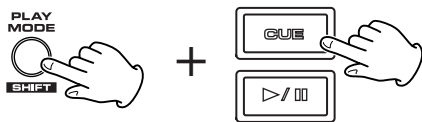
CD-DJ1では再生を開始したいポイントをキューポイントとして登録することができます。キューポイントが登録されていると、CUEキーを押すことによりキューポイントにロケートして一時停止（キューポーズ）します。

1. キューポイントの登録

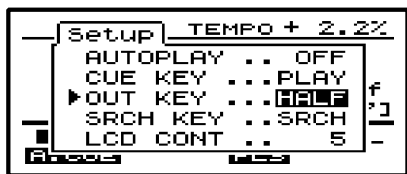
キューポイントの登録モードには以下の2通りがあります。

- **Playモード（初期設定）：**
最後に再生を開始したポイントをキューポイントとして自動登録します。
- **Cueモード：**
一時停止／スクラブ再生中にCUEキーを押したポイントをキューポイントとして登録します。

登録モードの切り換えは、SHIFTキーを押しながらCUEキーを押します。その際、ディスプレイに設定中の登録モード（PLAYまたはCUE）が数秒間ポップアップ表示されます。



あるいはセットアップメニューのCUE KEY項目を使って行ないます。



セットアップメニューのCUE KEY項目では、"PLAY"または"CUE"を選択します。

メモ

- ◇キューポイントが登録されているとき、CUEキーが点灯します。また登録モードがCueモードのときのみ、一時停止／スクラブ再生中にCUEキーが点滅します。
- ◇CDカバーを開けると、キューポイントが消去されます。

2. キューポイントの確認

キューポイントで一時停止（キューポーズ）中、CUEキーを押したままにすると、キューポイントから再生を開始します。CUEキーを離すとキューポイントに戻りキューポーズになります。この機能を使って、キューポイントを確認することができます。

CUEキーを押しながら確認再生中にPLAY/PAUSEキーを押すと、通常再生になります。

ホットキュー機能

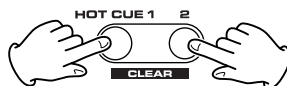
本機は2つのホットキューポイント（HOT CUE 1および2）を登録することができます。ホットキューポイントが登録されているときに対応するHOT CUEキーを押すと、フラッシュスタート設定に応じて本機が以下の動作を行ないます。（→ 17ページ「フラッシュスタート」）

- **フラッシュスタートがオンのとき：**
ホットキューポイントから瞬時に再生を開始します。
- **フラッシュスタートがオフのとき：**
ホットキューポイントにロケートして一時停止（キューポーズ）します。

1. ホットキューポイントの登録

再生／一時停止／スクラブ再生中にHOT CUEキー（1または2）を押します。

ホットキューポイントが登録され、キーが点灯します。



2. ホットキューポイントの消去

SHIFTキーを押しながらHOT CUE/CLEARキーを押すと、対応するホットキューポイントが消去されます。

またCDカバーを開けると、登録されているホットキューポイントが消去されます。

3. ホットキューポイントの確認

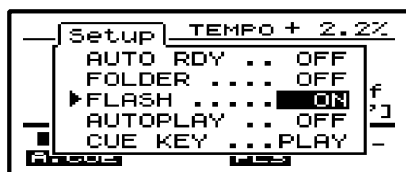
フラッシュスタートがオフのとき、ホットキューポイントで一時停止（キューポーズ）中、対応するHOT CUEキーを押したままにすると、ホットキューポイントから再生を開始します。HOT CUEキーを離すとホットキューポイントに戻りキューポーズになります。この機能を使って、ホットキューポイントを確認することができます。

HOT CUEキーを押しながら確認再生中にPLAY/PAUSEキーを押すと、通常再生になります。

フラッシュスタート

フラッシュスタート機能をオンにすると、HOT CUEキーを使ってフラッシュスタート（瞬時スタート）を行なうことができます。

フラッシュスタート機能のオン/オフ設定はセットアップメニューのFLASH項目を使って行ないます（初期設定はオン）。

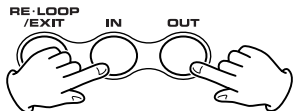


フラッシュスタート機能がオンのとき、ディスプレイに"FLS"が点灯します。

ループ再生

任意の区間（IN-OUTポイント間）を繰り返し再生することができます。

以下に、ループ区間の始点（INポイント）および終点（OUTポイント）が登録されていない状態から、ループ区間を設定してループ再生を行なうまでの手順を説明します。



1. 始点（INポイント）の設定

再生中または一時停止中にINキーを押します。
INキーが点灯し、OUTキーが点滅します。

2. 終点（OUTポイント）の設定

再生中または一時停止中にOUTキーを押します。
INキー、OUTキーおよびRE-LOOP/EXITキーが点灯します。
再生中にOUTポイントを設定した場合、ただちにループ再生を開始します。

一時停止中にOUTポイントを設定した場合はINポイントで一時停止しますので、ループ再生を開始するにはPLAY/PAUSEキーを押します。

ループ再生では、OUTポイントまで再生を行なうと瞬時にINポイントから再生が始まります（シームレス再生）。

【OUTポイント設定上のご注意】

◇OUTポイントはINポイントより後ろにしか設定できません。

◇トラックをまたいだOUTポイントの設定も可能です。

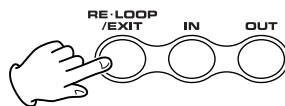
3. ループ再生の解除

ループ再生中にRE-LOOP/EXITキーを押すと、RE-LOOP/EXITキーが消灯してループ再生が解除され、本機はそのまま再生を続けます。このときループポイントは消去されません。

また、トラックスキップを行なったりCUEキーやHOT CUEキーを押すことによってループ区間外にロケートした場合、RE-LOOP/EXITキーが消灯しループ再生が解除されます。このときもループポイントは消去されません。

リループ再生

INおよびOUTポイントが登録済みでループ再生が解除されているとき、RE-LOOP/EXITキーを押すことにより、ループ再生を瞬時に開始します（リループ再生）。



また、INポイントが登録済みのときにINキーを押すと、直ちにINポイントから再生を開始します（エクストラホットキュー）。

1. ループポイントの消去

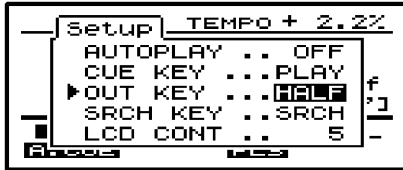
ループポイント（INポイントとOUTポイント）が登録されているとき、以下のいずれかの操作によりループポイントを消去することができます。

- SHIFTキーを押しながらRE-LOOP/EXITキーを押す。
- CDカバーを開ける。

ループポイントが消去されるとINキーとOUTキーが消灯します。

2. OUTポイントの更新

ループ再生中にOUTキーを押すと、OUTポイントが更新され、新たなループ区間のループ再生が始まります。このときOUTポイントは、セットアップメニューのOUT KEY項目の設定に従って更新されます。



- HALF :
元のループの長さの半分の長さになるよう、OUTポイントが設定されます。
- SET :
OUTキーを押したときのポイントがOUTポイントになります。

3. OUTポイントの編集

ループ再生中、SHIFTキーを押しながらOUTキーを押すと、ジョグダイヤルによるOUTポイント編集が可能になります。

編集による変更結果はリアルタイムにループ再生に反映されます。

希望のOUTポイントに変更後、OUTキーを押すと、OUTポイントが登録されてOUTポイント編集モードを終了します。

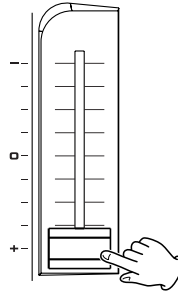
4. OUTポイントの復帰

OUTポイントの更新や編集後、SHIFTキーを押しながらINキーを押すと、OUTポイントが更新前や編集前のポイントに復帰します（アウトリターン）。

テンポコントロール

テンポスライダーを使って再生テンポをコントロールすることができます。現在の再生テンポはディスプレイに表示されます。

スライダーを－方向に操作すると再生テンポが遅くなり、＋方向に操作すると再生テンポが速くなります。



テンポレンジの設定

TEMPOキーを使って、テンポスライダーのテンポレンジを設定することができます。TEMPOキーを押すたびにテンポレンジ設定が以下の間で切り換わります。

±8%（初期設定）、±16%、±32%、±100%



設定値は数秒間、ディスプレイに点滅表示された後、有効になります。

ご注意

TT-M1がオンの時、テンポスライダーやTEMPOキーは機能しません。再生テンポはTT-M1による値になります。（→ 22ページ「TT-M1を使う」）

キーオリジナル機能

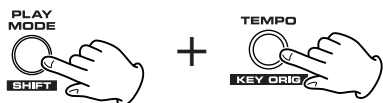
通常はテンポの変化（再生スピードの変化）に伴って音の高さが変化します。キーオリジナル機能をオンにすると、テンポを変えても音の高さが変わりません。

メモ

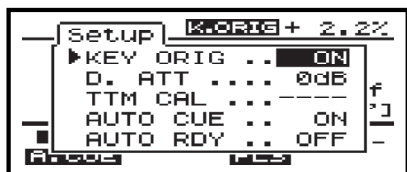
◇テンポレンジを±100%に設定したときはキーオリジナル機能を使えません。キーオリジナル機能をオンに設定しているときにテンポレンジを±100%に設定すると、キーオリジナル機能が自動的にオフになります。

◇TT-M1をオンにしているときはキーオリジナル機能を使えません。キーオリジナル機能をオンに設定している時に、TT-M1をオンにすると、キーオリジナル機能が自動的にオフになります。

キーオリジナル機能のオン/オフを行なうには、SHIFTキーを押しながらTEMPO/**KEY ORIG**キーを押します。



あるいは、セットアップメニューのKEY ORIG項目を使ってキーオリジナル機能のオン/オフを行なうこともできます。



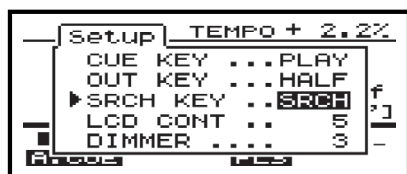
キーオリジナル機能がオンのとき、ディスプレイに"K.ORIG"が点灯します。

ピッチベンド機能

ピッチベンド機能とは、再生中に再生スピードを一時的に早くしたり遅くしたりする機能です。

セットアップメニューのSRCH KEY項目の設定によって、SEARCHキー、またはジョグダイヤルを使ってピッチベンドを行なうことができます。

最大ピッチベンド幅は、±16%です。



■ SRCH設定時：

ジョグダイヤルを使ってピッチベンドを行ないます。時計回りに回すと再生スピードが早くなり、反時計回りに回すと再生スピードが遅くなります。操作をやめると元のテンポ（テンポスライダーで設定したテンポ）に戻ります。

メモ

SRCH設定時、SEARCHキーは通常のサーチキーとして動作します。（→ 15ページ「サーチする」）ただし、SHIFTキーを押しながらSEARCHキーを押すと、ピッチベンドを行ないます。

■ BEND設定時：

SEARCHキーを使ってピッチベンドを行ないます。再生中、キーを押している間だけテンポが変化します。離すと元のテンポに戻ります。

メモ

キーオリジナル機能がオンのとき、ピッチベンドを行なっても音程が変わりません。

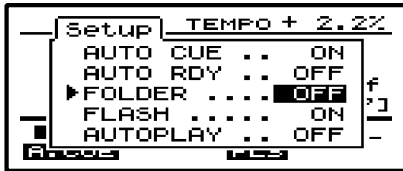
第6章 MP3ファイルの再生

本機は以下のフォーマットで記録されたMP3ファイルを再生することができます。

- ディスク：CD-ROM MODE 1の読み出しに対応（マルチセッションディスクには非対応。最初のセッションに記録されたファイルのみを再生可能）。
- 論理フォーマット：ISO9660 Level 1, Level 2, Joliet Extension
- ファイルフォーマット：MPEG 1 Audio Layer 3
- ビットレート：32kbps～192kbps、VBRには非対応
- サンプリング周波数：44.1kHz、モノラルおよびステレオ
- ファイル拡張子：mp3、Mp3、mP3、MP3
ID3タグに対応

再生範囲の選択

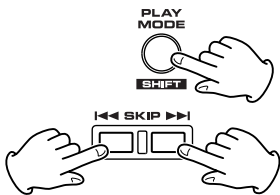
MP3ファイル再生では、現在選択中のフォルダ内のみを再生するか、あるいはディスク全体（全フォルダ）を再生するか選択できます。選択はセットアップメニューのFOLDER項目を使って行ないます。



FOLDER項目をOFF（初期設定）に設定すると、ディスク全体が再生範囲になります。ONに設定すると、現在のファイルのみが再生範囲になります。

フォルダの選択

SHIFTキーを押しながらSKIPキーを押すことによって、フォルダを選択することができます。



ディスプレイ表示

- MP3ファイルを再生すると、ディスプレイに"MP3"が表示されます。
- 時間表示モードは、ELAPSED（トラック経過時間）のみです。MP3ファイルの場合はREMAIN表示やTOTAL REMAIN表示はありません。
- SHIFTキーを押しながらTIME/ENTER/**TITLE** キーを押すと、MP3ファイルのトラックタイトル表示が切り換わります。
 - ・トラックタイトル("TITLE")
 - ・ファイル名("FILE")
- 総トラック数表示部には、MP3ファイル再生中、セットアップメニューのFOLDER項目の設定に応じて、カレントフォルダ内のトラック数またはディスク全体のトラック数を表示します。

MP3ファイル再生時に制約のある機能

MP3ファイル再生時は、以下の機能がご使用になれません。

- トラックサーチ機能
- ジョグ操作（スクラブ再生）
- キュー機能
- ホットキュー機能
- ループ再生

MP3ファイルのフォルダとトラックについて

本機はディスク上の各MP3ファイルを「トラック」として扱います。MP3ファイルを取録したCDの中には、通常のパソコンのファイルの扱いと同じように、MP3ファイルをフォルダに収納しているものがあります。さらに、いくつかのフォルダをまとめて1つのフォルダに収めるといった、複数階層構造のものもあります。

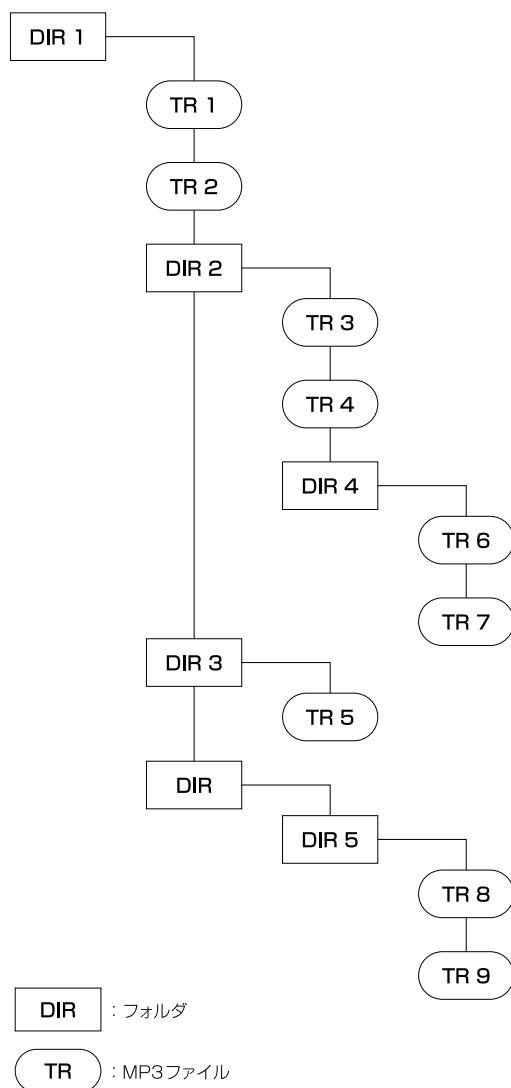
本機では、各MP3ファイルにトラック番号を付けて管理します。

トラック番号は、第1階層、第2階層、第3階層... というように、階層の浅いフォルダ内のファイルから順に割り当てられます。またフォルダ番号もこの順に従って割り当てられます。

MP3ファイルを通常再生すると、オーディオCDと同じように、トラック番号順に再生されます。

メモ

すぐ下の階層にMP3ファイルが収納されていないフォルダにはフォルダ番号が割り当てられません。たとえば左下図のような構成のディスクの場合、フォルダ5の上の階層のフォルダには番号が割り当てられません。



〈MP3ディスクの構成例〉

第7章 その他の機能

TT-M1を使う

本機はTASCAM TT-M1を接続するためのTT-M1端子を装備しています。



アナログターンテーブルにセットしたTT-M1を本機のTT-M1端子に接続することにより、アナログターンテーブルを使ってCDの再生速度や方向をコントロールすることができます。

TT-M1のオン/オフ

TT-M1のスイッチのオン/オフは、TT-M1側のスイッチを使って行ないます。

TT-M1のスイッチをオンにすると、CDの再生速度および方向がTT-M1によって制御されます。またこのとき、TT-M1側のLEDが点灯します。

TT-M1のスイッチをオフにすると、TT-M1は機能しなくなり、TT-M1側のLEDは消灯します。

TT-M1のキャリブレーション

TT-M1を使用する前に、TT-M1のキャリブレーションを行なう必要があります。

1. TT-M1のPOWERスイッチを押します。
2. アナログターンテーブルを定常速度(33rpmでテンポ0%)で回転させます。
3. SHIFTキーを押しながらPLAY/PAUSEキーを押します(または、セットアップメニューのTTM CAL項目を選択してENTERキーを押します)。
4. キャリブレーションが始まります。キャリブレーション中は、ディスプレイに"TTM CAL"が表示されます。
5. キャリブレーションが正しく終了すると、ディスプレイに"CAL OK"が表示されます。

メモ

◇キャリブレーションでは、アナログターンテーブルを33回転で再生にした時のTT-M1でのセンサリング状況(受信パルス数、受信パルスのワウ成分量)を測定し、TT-M1からの再生制御が適切に行なわれるよう、本機を最適化します。

◇アナログターンテーブルの回転が不安定であったり回転速度が極端に速い/遅い場合には、キャリブレーションが正常に実行されず、測定結果は破棄され、ディスプレイに"CAL ERR"が表示されます。

TT-M1使用時の制約

TT-M1使用時は、本機の次の機能、操作が無効になります。

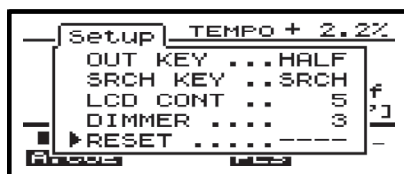
- テンポスライダーによるテンポ変更
- テンポレンジ変更
- ジョグダイヤルやトラックサーチキーを使ったピッチベンド機能
- キーオリジナル機能(強制的にオフになります)

なお本機がサーチ(FF/REW)中は、TT-M1が無効になります。

本機の設定をリセットする

セットアップメニューのRESET項目を使って、本機が記憶している設定や情報を工場出荷時の状態に戻す(リセット)することができます。

リセットを行なうには、メニューのRESET項目にカーソルを合わせて、ENTERキーを押します。



出力音量の設定

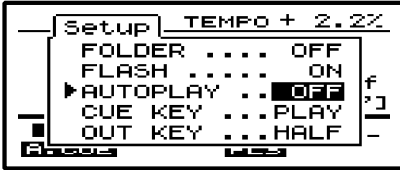
セットアップメニューのD.ATT項目を使って、本機のLINE OUT端子とPHONES OUT端子からのCD出力音量を調整することができます。

0dB~20dBの範囲(1dBステップ)で設定できます(初期設定は0dB)。



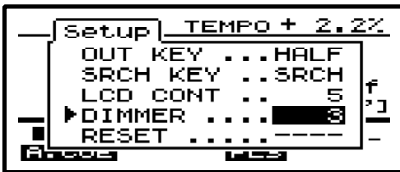
オートプレイ

セットアップメニューのAUTOPLAY項目を使って、オートプレイ機能のオン/オフを設定することができます。オートプレイ機能をオンにすると、本機の電源をオンにしたときに自動的に再生が始まります。初期設定はオフ（OFF）です。



バックライトの設定

ディスプレイのバックライトは、セットアップメニューのDIMMER項目で設定した輝度で点灯します。DIMMER項目では、1～5の中からディマーレベルを選択します。

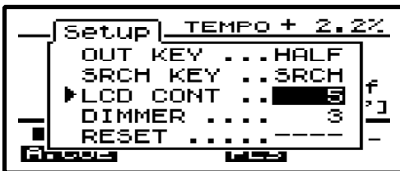


● スリープ動作時

本機がスリープ時は、バックライトは消灯します。

コントラストの調整

セットアップメニューのLCD CONT項目を使って、ディスプレイのコントラストを設定できます。このメニュー項目では、1～10の中から希望のコントラスト値を設定します。



第8章 仕様

定格

使用ディスク：	8cm/12cm CD
再生可能ディスク：	CD/CD-R/CD-RW
再生可能フォーマット：	オーディオCD (CD-DA)、 CD-ROMフォーマットで記録されたMP3ファイル
チャンネル数：	2チャンネル
量子化ビット数：	16ビット
サンプリング周波数：	44.1kHz

LINE OUT

コネクター：	RCAピンジャック
出力インピーダンス：	600Ω以下
最大出力レベル：	+6dBV

PHONES OUT

コネクター：	6.3φステレオホンジャック
最大出力：	20mW + 20mW (32Ω負荷時)

TT-M1入力端子

コネクター：	MINI DIN6ピン
--------	-------------

電源

ACアダプター：	TASCAM PS-PS5
入力：	100V AC、50-60Hz
出力：	DC 9V 700mA
消費電力：	6 W
外形寸法(W x H x D mm)：	155 x 275 x 60
質量：	1000g
付属品：	ACアダプター (PS-PS5) (x 1) 取扱説明書 (x 1) 保証書 (x 1)

性能

以下の性能はテンポチェンジが0%のときのものです。

周波数特性：20Hz～20kHz、+/-0.5dB

ダイナミックレンジ：96dB 以上

S/N 比：100dB以上 (with A-FILTER)

歪率：0.005%以下

チャンネルセパレーション：98dB以上
(@1kHz with A-FILTER)

*仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

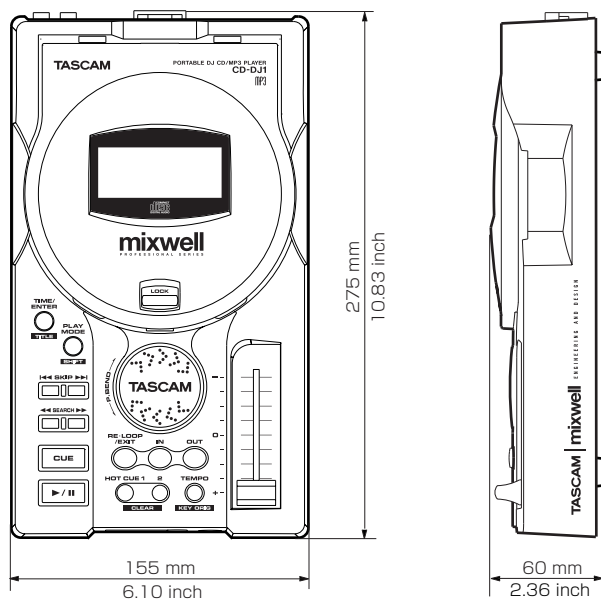
*製品の改善により、取扱説明書のイラストなどが、一部製品と異なることがあります。あらかじめご了承ください。

バックアップメモリー

本機は電源をオフにしても、以下の設定を記憶しています。

- セットアップメニューの設定 (システムリセット項目を除く)
 - キーオリジナル
 - デジタルアッテネーション
 - TT-M1キャリブレーション
 - オートキュー
 - オートレディ
 - CD-ROMフォルダブレイ
 - フラッシュスタート
 - オートプレイ
 - CUEキーモード
 - LOOP OUTキーモード
 - SEARCHキー機能
 - LCDコントラスト
 - バックライトディマー
- その他
 - テンポコントロール設定
 - 再生モード/リピートモード
 - 再生時間表示モード

外形寸法図



この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

タスカム営業技術 〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3
電話：0422-52-5106 / FAX：0422-52-6784

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:00～17:00です。

ティアック修理センター 〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7



一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3
<http://www.teac.co.jp/tascam/>